


## 生涯学習の充実(30億3312万6千円)

- ◆小・中学校耐震化事業(3億2979万円)  
24年度までの完了を目指し、玉川小学校校舎・拝島第一小学校体育館(光華小学校校舎・体育館は19年度～20年度)の耐震補強工事を実施するほか、耐震診断二次調査を小学校4校、耐震補強設計・評定を小学校3校および中学校3校で実施します。
- ◆拝島第二小学校除湿温度保持機能復旧工事(2億680万円)
- ◆学力向上推進プラン事業(1739万円)  
児童・生徒が確かな学力を身につけるため、3か年計画を着実に実施し、成果を検証します。
- ◆放課後子ども教室推進事業(1609万円)  
地域住民の協力を得て、学校内に放課後などの安全な子どもの居場所を増やします(小学校4校)。

- ◆スクールプラン21事業(1182万円)  
すべての小・中学校がそれぞれ創意工夫をして、特色ある学校づくりを進めます。
- ◆小・中学校特別支援教育推進事業(886万円)  
特別な支援や配慮を必要とする児童・生徒に対する教育的支援として、専門委員会を設置し、特別支援教育支援員を配置します。
- ◆多摩辺中学校特別支援学級の新設(240万円)
- ◆大神会館窓サッシ交換等改修工事(4425万円)
- ◆総合スポーツセンタークライミングウォール改修(500万円)  
パネルの交換や傾斜部分の変更など、安全で充実した施設に改修します。
- ◆市民図書館つつじが丘分室外装塗装工事(250万円)

## 質の高い都市基盤整備(47億4591万5千円)

- ◆都市計画道路3・4・2号整備事業(12億5300万円)  
拝島駅南口駅前広場を含む都市計画道路3・4・2号(江戸街道線)の用地を取得します。
- ◆拝島駅自由通路整備工事(6億2920万円)  
拝島駅南北を結ぶ自由通路整備の今年度完成に向けて引き続き工事を行います。
- ◆都市計画道路3・4・1号整備事業(6億2830万円)  
都市計画道路3・4・1号(昭島中央線)の用地取得および設計を行います。
- ◆市道北134号(松原踏切・松原架道橋)拡幅工事(1億500万円)  
松原踏切道拡幅工事および松原架道橋拡幅工事の設計を行います。

- ◆景観まちづくり整備工事(3600万円)  
「景観まちづくり市民プラン」に基づき、遊歩道を整備し、自然と調和の取れた景観を目指します。
- 
- ◆青梅線北側地区コミュニティバス運行事業(1300万円)  
JR青梅線北側地区でのコミュニティバス(Aバス)の運行を開始します。

## 産業の活性化(2億646万3千円)

- ◆中小企業事業資金融資利子等補助(2346万円)
- ◆商店街イベント事業補助(1193万円)
- ◆商店街活性化事業補助(200万円)
- ◆製造業課題解決サポート事業(102万円)  
中小企業の課題の解決を支援し、経営力の向上を図るため専門家(コーディネータ)を派遣します。

- ◆特産品展示ケースの設置(75万円)  
市役所ロビーに市内の農産物や銘菓などを展示するケースを設置します。
- ◆観光産業振興の推進(8万円)  
観光協会の設立に向けて、関係機関との懇談会などを行いながら準備活動を進めます。

## その他(110億9091万円)

- ◆地域情報化システム更新(2395万円)  
ホームページ、施設予約システムなどの機器を更新し、動作環境の改善を図ります。

- ◆第五次総合基本計画策定(200万円)  
第五次総合基本計画(23年度～32年度)の策定に先立ち、市民アンケート調査を実施します。

# 平成20年度の主な施策

20年度の主な施策で新規事業を中心に、第四次総合基本計画(13年度～22年度)に基づいて分け、紹介します(小項目の予算額は1万円単位で掲載)。掲載されていない事業などは、市役所行政資料コーナーまたは市ホームページで「平成20年度一般会計予算大綱」をご覧ください。


## 明るい地域社会の形成(18億6302万6千円)

- ◆自転車等駐車場指定管理者制度の導入(1億1390万円)  
自転車等駐車場の管理に指定管理者制度を導入します。
- ◆起震車購入(3528万円)  
防災対策の啓発・訓練活動のため立川市と共同で起震車を購入します。

- ◆災害対策用備蓄品の購入(150万円)  
災害時の避難所生活の充実を図るため、パーティション(間仕切り)などを購入します。
- ◆市民協働推進検討委員会の設置(35万円)  
市民との協働のあり方や手法などを検討し、協働の指針を策定するための検討委員会を設置します。

## 健康と福祉の充実(136億2253万8千円)

- ◆国民健康保険特別会計繰出金(15億2600万円)  
医療制度改革に伴い、国民健康保険に加入している40歳～74歳の方を対象に、特定健康診査・特定保健指導を行います。
- ◆後期高齢者医療特別会計繰出金(7億8600万円)  
すべての75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度が老人保健医療制度に代わり始まります。
- ◆中国残留邦人支援事業(3803万円)  
中国残留邦人に対し、生活の安定を図るため、新たな給付や生活支援を行います。
- ◆妊婦健康診査(2958万円)  
妊婦健康診査の公費負担を2回から5回に増やします。
- ◆つどいのひろばの拡充(470万円)  
拝島保育園に0歳～3歳児と保護者がつどい交流できるひろばを開設します。

- ◆子育てひろばの開設(231万円)  
なしのき保育園に0歳～3歳児と保護者の交流、子育て相談、一時保育を実施する子育てひろばを開設します。
- 
- ◆こんにちは赤ちゃん事業(100万円)  
4か月までのお子さんがある家庭を助産師などが訪問し、育児不安などの相談に応じます。
  - ◆母子家庭自立支援教育訓練給付事業(100万円)
  - ◆民生・児童委員協力員制度の創設(55万円)  
高齢者や子どもたちの見守りなど、民生委員・児童委員の活動を補助する協力員事業を始めます。

## 循環型社会の形成(29億7402万2千円)

- ◆昭和公園整備事業(9億5400万円)  
昭和公園整備構想に基づき、20年度～21年度に野球場などを整備します。
- ◆崖線緑地保全事業(1億5790万円)  
みどりの軸とした崖線緑地を保全する事業に取り組みます。
- ◆奥多摩・昭島市民の森交流事業(70万円)  
事業開始から5年目に当たり、奥多摩町との交流事業を実施します。

- ◆環境コミュニケーションセンター整備事業(1億3950万円)  
23年度の完成を目指して、ごみを資源化・減量化し循環型社会の形成を推進するための中心となる総合的な施設の建設を始めます。
- ◆ごみ減量啓発用環境バッグの作成(195万円)  
環境バッグを作成し、リサイクル展などで配付し、ごみ減量の啓発を図ります。